

令和4年度決算報告 問 財政課 (☎21-1197)



私たちが市に納めた税金ってどう使われているの？



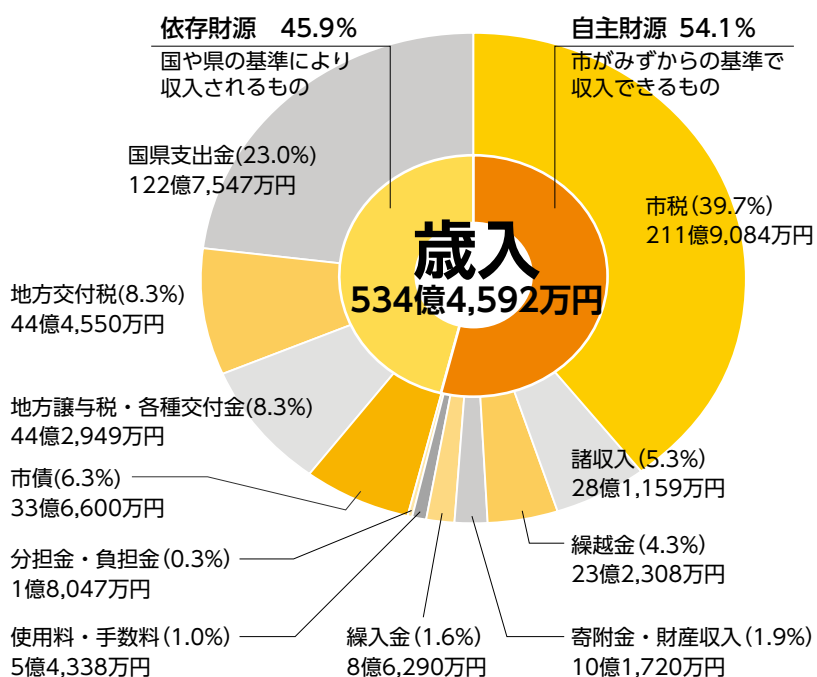
令和4年度の歳出歳入状況をお伝えします。



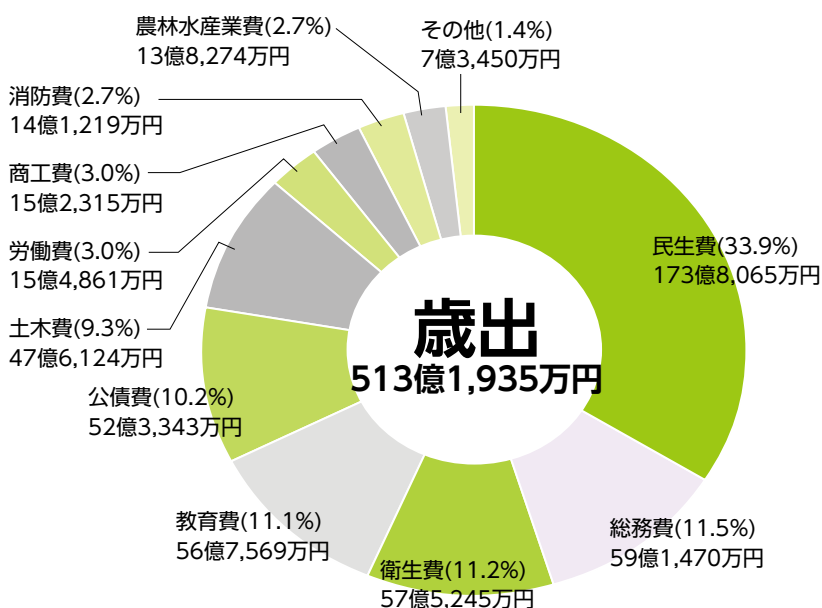
一般会計決算

一般会計は令和3年度と比較して歳入が26億4,479万円の減、歳出が24億4,828万円の減となりました。

令和4年度の歳入と歳出の差額は21億2,657万円で翌年度へ繰り越す財源を除いた実質的な収支は19億3,896万円です。



Category	Description
市税	みなさんが掛川市に納めていただいた税金です。
諸収入	市営住宅共益費などです。
繰越金	前年度からの繰越金です。
寄附金・財産収入	ふるさと納税や市有財産の貸し付け収入などです。
繰入金	各種基金(貯金)や特別会計から一般会計へ繰り入れたお金です。
使用料・手数料	施設の利用や住民票の発行時などに納めていただいたお金です。
分担金・負担金	農道の整備などに係る地元負担金などです。
国県支出金	みなさんが国や県に納めていただいたお金の一部です。特定の目的を達成するために国や県から市へ交付されます。
地方交付税	みなさんが国に納めていただいたお金の一部です。地方公共団体の財政状況に応じて国から配分されます。
地方譲与税各種交付金	みなさんが国や県に納めていただいたお金の一部です。
市債	事業を行うために国や銀行などから借りたお金です。



民生費	障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援のための経費です。
総務費	市有財産の管理、まち協や自治区を支援する経費です。
衛生費	市民の健康づくりやごみ収集などの経費です。
教育費	学びの充実や学校施設を管理する経費です。
公債費	建設事業などを行うために借り入れたお金の返済金です。
土木費	道路・河川・公園の整備などにかかる経費です。
労働費	労働環境や福利厚生などの経費です。
商工費	産業の活性化や観光振興などの経費です。
消防費	地震・津波などの防災対策や消防活動の経費です。
農林水産業費	安全安心な農産物の供給などの経費です。
その他	議会や災害復旧などの経費です。



みなさんから納めていただいた税金をどのような事業に活用したか一部紹介します。

令和4年度に行った主な事業

● 掛川城天守閣修復景観整備事業



1億5,631万円

復元から27年が経過し、漆喰は、一部剥離や黒ずみなどが見られ、廻縁・高欄にも腐食や褪色が見られたため、修復工事を実施し、美しい天守閣がよみがえりました。

文化・スポーツ振興課 (☎21-1126)

● 海岸防災林強化事業(防潮堤整備)



5億8,237万円

海岸防災林の地盤を南海トラフ巨大地震による津波（レベル2津波）に対応した高さにかさ上げして、クロマツや広葉樹などを植栽し、災害に強い森林に再生する事業です。

基盤整備課 (☎21-1315)

● きとうこども園施設整備事業



10億3,963万円

きとうこども園の園舎建設などに係る経費を補助し、開園の支援を行いました。これにより認定こども園化事業が完結し、民営の認定こども園5園に再編されました。

こども政策課 (☎21-1211)

● 防災航空隊(高校生ドローン隊)事業



225万円

地震などの災害が発生した際、人が近付くことができない現場の状況をドローンで広範囲に撮影し、災害対応の効率化を目指す事業です。

危機管理課 (☎21-1131)

各種会計決算の状況

特別会計

特別会計は、特定の収入によって特定の事業を行い、その収支を明確にするために一般会計から独立させたものです。掛川市には11の特別会計があります。令和3年度と比較して歳入が1億6,528万円（0.7%）の減、歳出が3億1,457万円（1.3%）の減となりました。

会計	歳入	対前年比(%)	歳出	対前年比(%)	差額
国民健康保険	119億3,104万円	99.3	117億7,188万円	99.5	1億5,916万円
後期高齢者医療保険	14億1,820万円	106.9	14億1,308万円	106.8	512万円
介護保険	102億2,372万円	101.1	97億9,372万円	99.6	4億3,000万円
公共用地取得	5億2,956万円	98.4	147万円	12.5	5億2,809万円
掛川駅周辺施設管理	6,741万円	101.0	5,842万円	87.5	899万円
大坂・土方工業用地整備事業	10億2,552万円	78.8	10億1,115万円	77.7	1,437万円
財産区(上西郷、桜木、東山、佐束、倉真)	2,447万円	118.6	1,072万円	108.4	1,375万円

企業会計

地方自治体が経営する地方公営企業は、一般会計から独立して運営しています。掛川市には5つの企業会計があります。

会計	収入	対前年比(%)	支出	対前年比(%)	差額	
水道事業	収益的収支	32億6,301万円	102.3	29億4,713万円	105.6	3億1,588万円
	資本的収支	6億3,948万円	179.1	15億6,372万円	102.7	△9億2,424万円
簡易水道事業	収益的収支	1,749万円	99.4	1,712万円	89.9	37万円
	資本的収支	101万円	5.1	130万円	6.7	△29万円
公共下水道事業	収益的収支	22億3,675万円	103.2	18億3,229万円	98.3	4億446万円
	資本的収支	9億6,912万円	107.1	18億4,212万円	106.7	△8億7,300万円
農業集落排水事業	収益的収支	3億5,136万円	102.4	3億202万円	91.2	4,934万円
	資本的収支	156万円	6.6	1億180万円	80.9	△1億24万円
浄化槽市町村設置推進事業	収益的収支	2億1,825万円	102.3	2億783万円	100.1	1,042万円
	資本的収支	86万円	89.6	4,792万円	108.3	△4,706万円

※収益的収支：利用料金などの収入と、受水費や汚水処理費、職員の給与などの支出の収支
資本的収支：企業債などの収入と、建設工事費や企業債の償還金などの支出の収支

財政の健全性を示す5つの指標

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づいて、4つの健全化判断比率と公営企業の資金不足比率を算出しました。いずれの数値も基準を下回っていることから、掛川市の財政は健全であると言えますが、今後、新廃棄物処理施設整備など大規模事業が控えていますので、引き続き財政の健全化に努めてまいります。

区分	説明	掛川市	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計などの赤字の比率	赤字なし	11.93%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計など全会計での赤字の比率	赤字なし	16.93%
実質公債費比率	年間の収入のうち、借入金の返済に充てている額の比率	7.6%	25.0%
将来負担比率	借入金など将来負担する可能性がある金額が、年間の収入に対して占める比率	20.4%	350.0%
資金不足比率	各公営企業会計での事業規模に対する資金不足額の比率	不足なし	20.0%

企業経営の視点で見た市の決算状況

市の一般会計などの決算状況を、民間企業などが採用している発生主義の考え方で整理し、「どのくらい資産があるのか」、「行政サービスにはどれくらいコストがかかっているのか」など、より多くの視点からお知らせします。



貸借対照表

市が保有する「資産」を、将来返済しなければならない「負債」と、返済を必要としない「純資産」で表します。

資産	固定資産	2,178億9,279万円	}	資産合計	2,243億1,056万円
	流動資産	64億1,777万円			
負債	固定負債(地方債・退職手当引当金など)	450億5,545万円	}	負債・純資産合計	2,243億1,056万円
	流動負債(1年以内に返済する地方債など)	60億5,946万円			
純資産	純資産	1,731億9,565万円			

行政コスト計算書

「費用」と「収益」の差額から、行政サービスのコストを表したものです。

※「費用」：人件費、公園などの管理費、福祉などの行政活動に要したお金

費用		収益		純行政コスト (費用－収益)
経常費用(継続的に発生する費用)	479億8,814万円	経常収益	19億1,436万円	
臨時損失(単発的に発生した費用)	4億6,879万円	臨時利益	4,502万円	

純資産変動計算書

純資産に影響を与える変動要因を表したものです。残高の減少は、将来世代へ負担を先送りしたことになるため、コスト削減や財源確保の重要性が分かります。

区分	金額
令和3年度末純資産残高	1,757億8,799万円
純行政コスト(行政コスト計算書より)	△464億9,755万円
純行政コストに充てる財源	439億1,382万円
固定資産の内部変動など(評価差額・所管換など)	△861万円
令和4年度末純資産残高	1,731億9,565万円

資金収支計算書※歳計外現金除く

性質の異なる行政活動に分けて現金の収支を表したものです。行政活動が借金に頼らず、税金などの自己財源で賄われているかどうか分かります。

令和3年度末資金残高	28億4,970万円
令和4年度中増加額	511億9,319万円
うち業務活動収入	451億2,883万円
うち投資活動収入	26億9,836万円
うち財務活動収入	33億6,600万円
令和4年度中減少額	513億7,924万円
うち業務活動支出	411億126万円
うち投資活動支出	49億2,806万円
うち財務活動支出	53億4,992万円
令和4年度末資金残高	26億6,365万円